

日勤中に救急車で運ばれる異常事態発生！

4月26日12時頃、東二運で乗務を外され日勤に降ろされた社員が事情聴取中に動悸が激しくなり胸が締め付けられるような症状になり、救急車で搬送されるという異常事態が発生しました。この社員は、今も職場に出てくることはできず自宅療養・通院を余儀なくされています。

この事態は、〇〇科長が事情聴取中に社員の体調や精神的な状況をも何ら判断することなく『理詰め』追及した結果といわざるを得ません。

新幹線地本は職場管理者の暴走に対して幹鉄事に抗議！

JR東海労新幹線地本は、業務委員会で職場管理者の暴走に対して抗議しました。それにもかかわらず幹鉄事は、「個別の案件については回答しない」「救急車で運ばれたのは聞いている。どうい原因なのかは聞いていない」と回答しました。

全社員の皆さん！ これであなは耐えられますか？

JR東海労組合員が目撃した状況を再現すると「〇〇科長が『鬼の形相』で、誰もが立ち止まるほどの勢いで『もうこれ以上ないのか』と恫喝し『嘘を言ったらすぐわかる』と脅しまでおこなっていた」というものです。さらに、組合員曰く「あのような、さらし者のように自所の社員や他所の社員が頻繁に通る場所でやられたら精神的も具合も悪くなる」というものです。

皆さん あらためて考えましょう！

以前、社員がJR東海の看板商品である「のぞみ」号に相次いで飛び込んで自殺したときに「JR東海で何が起きているのか」と大々的に異常な事態としてマスコミが取り上げました。その中の、あるJR東海社員のインタビュー記事で「(自殺について)もし、仕事上のトラブルやストレスであればJR福知山線の事故の…“日勤教育”も影響しているかもしれません。…日勤『教育』とは言いつつも、実態は単なる懲罰です。運転士、車掌、駅員に限らず何かミスをすると怒鳴られます…何人ものオッサンから囲まれて罵倒されるのです。パワーハラメントや、いじめがものすごいんです」と語っています。

これを読んで本社・幹鉄事幹部の皆さんをどう思いますか。このようなパワハラや、いじめの異常な労務管理を容認しているのでしょうか。それとも職場の所長、科長自らの立身出世のための暴走なのでしょうか。

社員の皆さん！ このような職場管理者の異常な労務管理の暴走を許さず、職場を良くするために共に闘いましょう！